

泌尿器科専門研修プログラム

先進医療と一般泌尿器科診療の研鑽を積み、診療、教育、研究に貢献する
泌尿器科医として独り立ちできるよう全力でサポートします！

千葉大学泌尿器科専門研修プログラムは、千葉大学医学部附属病院を基幹(拠点)施設とし、18の連携施設と1つの協力施設から構成されています。連携施設と協力施設は都会拠点病院、地方拠点病院、都会診療所、地方診療所を含み、幅広い研修が可能です。できる症例が豊富で熱心な指導医のそろっている施設ばかりであり、質・量ともに十分な研修が受けることができます。

■ プログラムの“ここがポイント”

ロボット支援手術や腹腔鏡手術などの最先端医療、経尿道的手術、小児泌尿器科、女性泌尿器科、透析医療、生殖医療、地域医療などの幅広い領域の研修が可能で、サブスペシャリティ領域の研修も十分に経験できます。さらに、基幹(拠点)施設である千葉大学医学部附属病院では、臨床研究や基礎研究を行うことができます。また専門研修後には、大学院への進学や専門分野の研修も可能です。

経尿道的膀胱腫瘍切除術を
施行する若手医師

豊富な症例と充実した指導医が当プログラムの強み！専攻医の皆さんが自らの夢の実現に向け、大きく飛躍できるよう、質の高いプログラムになっています。

■ プログラムの内容

専攻医は「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、

1. 泌尿器科専門知識
2. 泌尿器科専門技能: 診察・検査・診断・処置・手術
3. 継続的な科学的探求心の涵養
4. 倫理観と医療のプロフェッショナルリズム

の4つのコアコンピテンシーからなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。また、各コアコンピテンシーにおける一般目標、知識、診療技能、態度に関する到達目標が設定されています。

■ プログラム責任者

坂本 信一



■ 研修プログラムに関するお問合せ先

電話 043-226-2134
e-mail urohisho@chiba-u.jp

お気軽にお問
合せください！

受入れ人数 : 8 名
選考方法 : 書類選考、面接



<連携施設>

帝京ちば総合医療センター
東邦大医療センター佐倉病院
国立病院機構千葉医療センター
千葉県がんセンター
千葉県こども病院
松戸市立総合医療センター
船橋医療センター
千葉市立青葉病院
国保旭中央病院
船橋中央病院
JCHO東京新宿メディカルセンター
成田赤十字病院
千葉労災病院横
浜労災病院
済生会宇都宮病院
千葉県済生会習志野病院
みはま病院
井上記念病院
君津中央病院
深谷赤十字病院
東京女子医科大学八千代医療センター
千葉市立海浜病院
上都賀総合病院
JCHO高輪病院

<協力施設>

原村医院

千葉大学病院 総合医療教育研修センターHP
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/>

千葉大学病院 見学のお申込み
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/common/visit.html>

研修期間中に習得すべき専門知識と専門技能は以下の如くです。

- 1) 専門知識: 発生学・局所解剖・生殖生理・感染症・腎生理学・内分泌学の6領域での包括的な知識を獲得します。
- 2) 専門技能: 鑑別診断のための各種症状・徴候の判断、診察法・検査の習熟と臨床応用、手術適応の決定や手技の習得と周術期の管理を実践するための技能を獲得します。
- 3) 経験すべき疾患・病態の目標: 腎・尿路・男性生殖器ならびに関連臓器に関する、先天異常、外傷・損傷、良性・悪性腫瘍、尿路結石症、内分泌疾患、男性不妊症、性機能障害、感染症、下部尿路機能障害、女性泌尿器疾患、神経性疾患、慢性・急性腎不全、小児泌尿器疾患などの疾患について経験します。
- 4) 経験すべき診察・検査: 内視鏡検査、超音波検査、ウロダイナミクス、前立腺生検、各種画像検査などについて、実施あるいは指示し、結果を評価・判定することを経験します。
- 4) 経験すべき手術やその件数も領域ごとに指定されています。
一般的な手術、専門的な手術、術前術後の全身管理、泌尿器科に特有な処置を経験、習得します。



ロボット支援手術の様子

プログラム参加施設全体での年間手術件数は約10000件ののぼり、量的にも十分な研修が可能です。

研修のイメージ

専門研修1年目 基幹施設 千葉大学医学部附属病院での研修

- ・基本的診察能力および泌尿器科的基本知識と技能の習得
- ・医療チームの構成員としてチーム医療への貢献
- ・安全な医療を遂行するための安全管理(リスクマネジメント)の習得
- ・抄読会や勉強会での発表、学会や研究会などでの発表
- ・泌尿器科一般的手術の執刀、専門的手術の助手

専門研修2、3年目 連携施設での研修

- ・一般的泌尿器科疾患の検査、処置、手術の研鑽
- ・泌尿器科地域医療の実践
- ・抄読会や勉強会での発表、学会や研究会などでの発表

専門研修4年目 基幹施設 千葉大学医学部附属病院での研修

- ・専門研修の総括と後進の指導
- ・サブスペシャリティー分野の取り組み
- ・より高度な専門知識、技能の習得
- ・臨床研究の学会発表、論文発表

*希望があれば研修4年目から大学院に進学することができます。